

福島市渡利地域の土壌測定結果について

2012.4.17

福島老朽原発を考える会
国際環境 NGO FoE Japan

1. 測定結果

福島老朽原発を考える会（フクロウの会）と国際環境 NGO FoE Japan は3月18日、福島市渡利地域の土壌の放射能分析を実施した。その結果、大変高い汚染結果を検出した。

サンプル No.	種類	場所	Cs-134 (Bq/Kg)	Cs-137 (Bq/Kg)	Cs 合計 (Bq/Kg)
120405S-1	土	福島市渡利弁天山南駐車場	13,300±2,700	13,300±2,700	<u>26,600</u> ±3,820
120405S-2	土	福島市小倉寺稻荷山	151,000±30,000	182,000±36,000	<u>333,000</u> ±46,900
120405S-3	土	福島市渡利薬師町水路② (水路露出部西端)	62,600±12,500	62,100±12,400	<u>125,000</u> ±17,600
120405S-4	土	福島市渡利弁天山東駐車場	8,590±1,720	8,350±1,670	<u>16,900</u> ±2,400
120405S-5	土	福島市渡利薬師町水路① (水路露出部中央付近)	98,900±19,800	106,000±21,000	<u>205,000</u> ±28,900

※1 測定機器はフクロウの会所有の放射能分析器 AT1320A(ベラルーシ ATOMTEX 社製)による。該当機器は仏 NGO-ACRO とクロスチェックを実施して誤差範囲 20%以内であることを確認している。

※2 表の見方: xx±yy は xx が中央値であり、yy は誤差範囲である(信頼区間 95%)。

2. 考察

- (1) 最高値は小倉寺稻荷山で 333,000Bq/Kg であった。この地点は継続監視しており 2011年6月 46,540Bq/Kg、同9月 238,700Bq/Kg よりもさらに上昇している。雨水による土の流れと集積によるものと考えられる。
- (2) 渡利薬師町の水路も 125,000Bq/Kg~205,000Bq/Kg と高い値を示した。この場所は 2011年9月の測定結果 (307,565Bq/Kg)よりは低いとはいえ依然高濃度に汚染されている。
- (3) 弁天山駐車場(南、東)は 16,900Bq/Kg~26,600Bq/Kg でありこの汚染レベルは政府の決める埋め立て基準 (8,000Bq/Kg)をはるかに上回る。

3. 結論

- (1) 「フクロウの会」、「国際環境 NGO FoE Japan」、「渡利の子供を守る会」は昨年9月以来、福島市渡利地域について特定避難勧奨地域への指定を要請してきた(別紙「福島市渡利地区における土壌中の放射能調査(概要) 2011年10月5日付け」参照)。しかし国、福島県、福島市は「先ず除染を行う」として、避難勧奨地域への指定も住民が要求してきた全世帯の詳細測定を行っていない。
- (2) 福島市は 2012年1月10日町会長向け説明会で、小倉寺/南向台/渡利6町会 724世帯の除染を 2012年3月末までに実施すると説明した。しかし除染の実績は 2012年2月現在で7世帯であり、計画通り進んでいない。除染土は各家庭の庭で保管することになっている。
- (3) 行政は、少なくとも除染期間中の避難・疎開や、子ども・妊婦の短期保養などへの支援を行うべきである。
- (4) 「先ず除染を行う」とした国、福島県、福島市の計画は全く破たんしている。一時避難、保養、疎開など子どもたちの放射線被ばくを最小限化するための措置をただちに検討し実施すべきである。

※ 本件についての問い合わせ先:

福島老朽原発を考える会代表 阪上武 fukurounokai@gmail.com TEL/FAX 03-5225-7213

国際環境 NGO FoE Japan 満田夏花 090-6142-1807